

東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会の開催と成功に関する決議

江東区は、東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京２０２０大会」と言う。）について、本年夏の開催に向け、国、東京都、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」と言う。）などの多くの大会関係者とともに準備を進めてきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的な広がりを受け、一年の延期が決定した。

オリンピックは単なるスポーツの祭典というだけでなく、恒久平和の祭典でもある。また、パラリンピックは社会が多様性を認め、共生社会を具現化するためのメッセージとなる。東京招致を決定した平成２３年、日本は東日本大震災に見舞われ、先行きの見えない不安と閉塞感に覆われていた。大会を通して、震災から力強く復興した被災地の姿を全世界に示し、寄せられた支援への感謝を伝えることができる。

また、東京２０２０大会は、文化の祭典でもあり、世界中の文化の灯を再び力強く輝かせていく契機とすべき大会でもある。

今、人類は新型コロナウイルス感染症という危機に直面しているが、世界が一丸となってこの難局を乗り越え、大会の開催と成功に果敢に取り組むことは、懸命に練習に励んできたアスリートだけでなく、開催を心待ちにしていることもたちをはじめ、全世界の人々に勇気と希望を与えることになる。

無論、開催に向けては、感染状況を十分踏まえ、アスリート、大会関係者、観客、そして、地元住民など、全ての人々にとって安全で安心な大会となるよう、国、東京都、組織委員会において万全の対策を講じる必要がある。

よって、江東区議会は、日本にとって「復興オリンピック・パラリンピック大会」であると同時に、世界にとっては、新型コロナウイルス感染症を乗り越える大会となる東京２０２０大会の開催と成功に向けて、国、東京都、組織委員会など関係機関と緊密に連携・協力し、万全の体制を構築して取り組んでいくものである。

以上、決議する。

令和2年12月15日

江東区議会